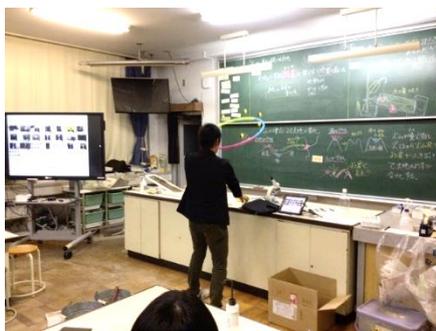




## 月ってどう教えるといいの？ 三日月は1ヶ月に一度だけ!?

11月2日(木)の放課後に自主研修 OJT に参加しました。

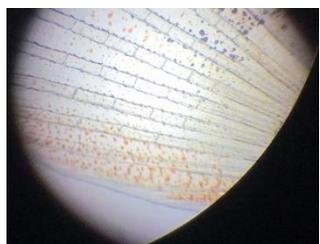
「先生、月ってどう指導するんですか？また教えてください!!」と理科の授業を見に来てくださったときに、ちらっとお聞きしました。「では、また自主研修のときにでもしましょう。」という会話があって、この機会をいただきました。



月模型にスポットライトを当てて月の満ち欠けを表したり、フラフープやピンポン玉など、100円ショップで購入できる物ばかりで手づくりした模型で、太陽と月の位置による見え方の違いを表したりする方法を紹介しました。「三日月は新月から3日目、月齢3のときだけ三日月といいます。」とお伝えしたところ、「1日だけなんですか!?!」「細長い月全部三日月って呼んでいました!!」とかなり驚かれました。実は、私もちょっと前までは、**日没直後の南西に出る月**だけが三日月と呼ぶことを知りませんでした。三日月が出て4日後に半月になりますが、その間の細長い月は、三日月とは呼ばないんですね。また、満月の後徐々に欠けていき、月の左側が細くなる月も月齢27くらいになり、三日月とは言いません。11月の三日月は、月齢カレンダーによれば、11月16日(木)の夕方。日没直後の南西に出ます。ぜひ、**1ヶ月にたった一度しか見られない三日月**を眺めてください!!



## 最新の顕微鏡で観察力アップ!!



南郷里小理科室には、長浜バイオ大学で使用されている「アトマII」という高機能な顕微鏡が8台と、今年度新たに5台新調し13台あります。ピント調整がたいへん簡単で、LED調整もでき、観察したい物が本当に美しく見ることができます。久しぶりに顕微鏡を覗かれたのではないのでしょうか?今回は、メダカのヒレにある骨(関節)や血管を観察していただきました。プレパラートは、スライドガラスにカバーガラスを乗せますが、セロハンテープに花粉を付けたり、チャック式ビニール袋にメダカを入れて観察したりする方法もあります。iPad 撮影も簡単にできます!!

